

「第2次久喜市環境基本計画」策定に向けた

久喜の未来の環境を語ろう！

高校生ワークショップ

実施結果報告書

令和4年10月

久喜市

目次

1 久喜市高校生ワークショップの概要.....	1
・ワークショップの目的.....	1
・開催日程.....	1
2 久喜市高校生ワークショップのまとめ.....	2
・ワークショップの意見概要.....	2
・今後に向けて.....	15

1 久喜市高校生ワークショップの概要

ワークショップの目的

久喜市では現在、令和5年度を初年度とする第2次久喜市環境基本計画の策定作業を進めており、市民の声を計画・施策事業に反映させる市民参画の一環として、将来を担う若者の声を広く伺うことを目的に、高校生を対象としたワークショップを実施した。市内に在住または在学する高校生と「久喜市の環境の良いところ、悪いところ」・「市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントや情報発信のアイデア」について、ZOOM（WEBミーティングシステム）を活用したグループワークによる意見交換を行った。

開催日時・討議テーマ・参加者

開催日時	討議テーマ	参加者数
令和4年 7月10日（日） 9時半～12時	(全体説明) ・久喜市の環境に関する取組み・方針 (グループセッション) ・久喜市の環境の良いところ、悪いところ ・市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントや情報発信のアイデア (全体) ・各グループの意見発表	高校生 18名 事務局 1名 コンサル 4名

参加高校：

久喜高等学校、久喜北陽高等学校、久喜工業高等学校、鷲宮高等学校、栗橋北彩高等学校（5校）



2 久喜市高校生ワークショップのまとめ

ワークショップの意見概要

実施プログラム

- 1 開会あいさつ
- 2 討議テーマについて
 - (1) 討議テーマの説明（スライド説明）
 - (2) グループセッション：自己紹介・意見交換
 - (3) 各グループの意見発表
- 4 閉会あいさつ

説明スライド

高校生ワークショップ ●本日のスケジュール	
1 開会あいさつ	5分程度
2 討議テーマについて	140分程度
(1) 討議テーマについてのスライド説明	5分程度
(2) グループセッション：自己紹介・意見交換	120分程度
(3) 各グループの意見発表	15分程度
3 閉会あいさつ	5分程度

「第2次久喜市環境基本計画」改訂に向けた

久喜の未来の環境を語ろう！ 高校生ワークショップ

久喜市環境経済部環境課
株式会社 知識経営研究所

●久喜市の環境に関する取組み・方針

- 久喜市では「第2次久喜市環境基本計画」という久喜市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
 - この計画では「**水と緑と街が調和した豊かな環境を守り・育て、未来につなぐまち『久喜』**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。
- ↓
- しかし、近年の環境問題をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
 - ・カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）
 - ・気候変動への適応（豪雨被害や熱中症などに備えること）
 - ・資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題
 - ・持続可能な開発目標（SDGs）など

●皆様に考えていただきたいこと

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックなどの問題、生物多様性のバランスの崩壊、外来種の増加、みどりの減少、大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て……

私たちが暮らす久喜市は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応し、

「脱炭素な暮らしを育むまち」
「豊かな自然と人がともに生きるまち」
「資源循環に配慮した暮らしを育むまち」
「健康で安全・安心に暮らせるまち」

そんな久喜市をみなさんと一緒に未来へつないでいきたい

そのために、若いみなさんの声を聴かせてください

● 本日の討議テーマ その1

久喜市の環境の 良いところ、悪いところ

- 10年後も守り続けたい環境
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がってほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、
久喜の環境について、感じることを、思うことを
自由に意見してください。

● 本日の討議テーマ その2

久喜の環境をより良いものにしていくためには、
行政だけでなく、市民や事業者の協力が不可欠

- 省エネ行動やごみの減量化や分別などの日常的な環境活動については、習慣として定着している。
- 地域ぐるみでの環境活動については、参加率が20%以下で低い。

- マンパワーを必要とする環境活動や、より積極的な省エネ行動やごみ減量活動を進めていくためには、参加率の向上に向けた工夫が必要

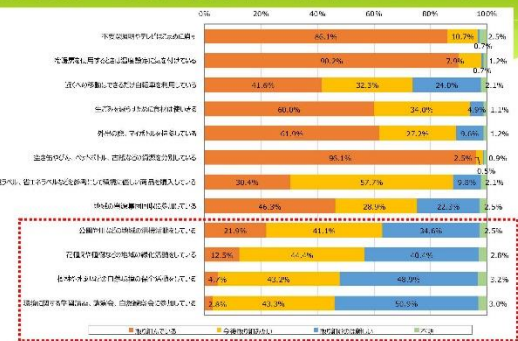
● 本日の討議テーマ その1

■ 環境基本計画のカバーする分野として

地球温暖化、 気候変動	二酸化炭素、化石エネルギー、太陽光発電、再生可能エネルギー、水素エネルギー、省エネ・節電、COOL CHOICE、電気自動車、燃料電池自動車、建物の省エネ化、森林取組、集中豪雨による災害・防災対策、熱中症対策 など
ごみ 資源循環	ごみ減量、ごみの分別、使い捨てプラスチック、資源ごみリサイクル利用、食品ロス、海洋プラスチックごみ、3R、エコバッグ、もったいない など
自然・みどり 生物多様性	みどりの減少、青毛堀の桜堤、久喜菖蒲公園、利根川、葛西用水、見沼代用水、里山、神社仏閣の樹林、水辺、湿地、希少な動植物、外来生物、自然とのふれあい、公園、街路樹、ふれあいロード など
安心・安全、 快適	大気汚染、光化学スモッグ、PM2.5、水質汚濁、騒音・振動、化学物質、環境基準、ごみのポイ捨て、美化清掃、まちなみ景観 など
エコ活動 環境学習	エコなライフスタイル・ビジネススタイル、環境教育、環境学習、環境講座、環境イベント、環境リーダー・ボランティア、環境情報、パートナーシップ など

● 本日の討議テーマ その2

■ 環境活動への参加の状況 (久喜の環境に関する意識調査 R4 より)



● 本日の討議テーマ その2

市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントアイデア、情報発信のアイデアは？

- 市民の省エネ行動やごみ減量の行動を習慣化させるための工夫・アイデア
- 現在、実施している環境イベントの参加率向上に向けた工夫・アイデア
- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫
- 継続できる活動でも、単発イベントでも、思いついたことを、まずは出し合ってみよう

● 本日の討議テーマ その2

アイデア出しのヒント

楽しい、面白い、
満足感（メリット）が得られる、
継続できる、仲間に参加できる

子どもが興味を持つ活動
家族で参加できる活動
友達同士で参加できる活動

環境+α（スポーツ、グルメなど）のコラボ

● 本日の討議テーマ その2

アイデア出しのヒント

公式Facebook、公式Twitter、
公式LINEの登録者数、
公式Youtubeの再生回数を上げるための工夫

Youtube、インスタなどの
画像、動画の活用アイデア

● 皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、挙手アイコンか手を振って司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くならないよう配慮しましょう。

グループセッション意見概要

● A 班

出席者：

- 高校生（6名）久喜高校 3名、久喜工業高校 3名
- 久喜市環境課（1名）
- コンサルタント（1名）

（敬称略）

●自己紹介と気になる環境問題

- 最近は気温が40℃近くになることもあり、地球温暖化について一番興味がある。
- 生物（昆虫）が好きなので、最近の気象状況などを考えると生物が減るのを防ぎたいと思う。
- 学校（学科）で勉強をしているので、地球温暖化問題が気になっている。
- ごみ問題について興味がある。
- 社会科の授業でごみ問題に関する映像を見たこともあり、ごみ問題について興味がある。

【久喜市の環境の良いところ・悪いところ】

◆省エネ行動について

- 電力がひっ迫しているので、電気をつけっぱなしとか、近くには自転車を使うなどの行動を実践している。
- 自転車を使うとか、あまり暑くない時期は窓を開けるなど、エアコンを工夫して使うようにしている。
- 一人ひとりの省エネ行動が大切だと思う。難しいかもしれないが、意識を変えて、身の回りのできることから始めるべき。
- 我が家のルールでは、電気の消し忘れなどは貯金箱に100円の罰金を納めることになっている。
- 電気の消し忘れなどは親に怒られるので注意している。

◆気候変動について

- まちなかを歩いていて今年は特に梅雨の時期にアジサイが見られなかった。
- 自宅でクワガタを飼育している。大体6月頃から活動しだすのだが、今年は4月になって活動しはじめた。生物季節がずれてきている感じがしている。

◆再生可能エネルギーについて

- 太陽光発電は屋根置きがメインなので、市内で増えているという感じは確認しづらいが、自宅には太陽光発電とHEMSを設置している。

◆ごみ減量・ポイ捨てなどについて

- 悪い風景ということであれば、まちなかのごみのポイ捨てが気になる。
- 自宅からマイボトルを持参するようにしている。
- 使い捨てプラスチックの使用削減は、スターバックスコーヒー（紙ストローなど）で知った。
- コンビニやスーパーの袋が有料化になっているなど、使い捨てプラスチックの問題は実感している。
- ペットボトルのキャップはスーパーで回収しているので、洗って貯めるようにしている。
- 牛乳パックなどは、スーパーのリサイクルコーナーに持っていつている。
- 我が家では、牛乳パックを乾かして、まな板替わりにして使用している。まな板などと違って洗剤で洗わずに捨てることができるので、汚い水を流す量が減る。
- 容器包装についてるシールは紙類なので、剥がして分別するようにしている。
- 自販機が多くて、ペットボトルでゴミ箱もパンパンになっているのでマイボトルの習慣が普及すればと良いと思う。

◆久喜の自然について

- ツバメ、シラサギ、アオサギなどが観察できるなど、それなりに自然はあると思う。
- 自然は豊かな印象を受ける。

【環境情報の取得方法】

◆SNSの活用について

- 自分から環境のことについて積極的に調べることはない。
- 自分で環境のことは調べないが、高校の学科が環境なので授業で学ぶことが多い。
- 最近では、ニュースで環境問題のことが流れている。
- 自分で調べることはないが、（白岡）市の広報で知ることが多い。
- SNS、インスタで趣味の情報を拾う。あまりテレビを見ることはない。テレビを見る人も減っていると聞くので、SNSでの情報発信に力を入れた方が良いのではないかと。
- 市の公式ツイッター、Youtubeの存在自体を知らない。
- 市のSNSをより良くするために、まずは、フォローをしてもらうことが重要と思う。フォローしてもらいアカウントのURLを拡散してもらう。
- 文字よりも画像のほうが目につきやすい。画像で第一印象が決まるので、きれいとか、面白そうかであれば、サムネイルや画像から入って詳しく検索することも多い。
- ハッシュタグも重要。
- 環境を前面に出すのではなく、グルメなど興味を引くところから入って、結果として環境のことにも触れられるくらいが良いのでは。
- TIKTOKでとある市役所のダンスを見つけたところから、そのまちに興味を持った。こんな感じで、話題性のあるところから情報を広めて、フォロワーを増やすべき。
- 生きものの癒しなど、久喜の生物の動画なども面白いかも。
- イベントでのきれいな写真なら反響あるのではないかと。

◆環境学習、イベントについて

- 楽しそうじゃないと行きたいと思わない。
- キャンドルづくりなどの作業や、小さい子供にはお祭りのなものなど、そのような楽しさを交えていかないと若い人は来ないと思う。
- 友達同士とか同世代だけなら参加しやすい。
- オンライン型の講習があっても良い。
- 参加しても何もないので、景品などのインセンティブがあっても良い。
- ボランティア活動をしているが、活動の現場で高齢者は子どもたちと触れ合えると生き生きとしている。
- お孫さんと参加したらインセンティブ（ジュースなど）を与えるなどの工夫があっても良い。
- 写真部に所属しているので、久喜の良い風景と悪い風景を撮影するコンテストがあると聞いたので、そのような二面性のある風景を感じ取れるイベントがあると参加したいと思う。
- 思いやりの循環に乗せた環境活動があると良い。
- 市内の飲食店スタンプラリーなども面白いかもしれない。
- 文化祭の企画に市に協力してもらって環境関連の話題やイベントを入れるなどの工夫はあっても良い。そのあたりなら学校と市で協力しあえるのでは。
- ポスターや広報などの告知だけで参加するのを待っているのではなく、今回のワークショップのように学校などに呼びかけに行くことも重要ではないか。
- 学校でチラシ（はなやかな感じ）を配るなどしたほうが、イベント情報は目に留まりやすい。

【本ワークショップについて】

- これまでこのような講座などに参加したことはない。ボランティアサークルの顧問の先生からこのワークショップのことを聞いて参加した。

● B 班

出席者：

- 高校生（5名）久喜高校3名、鷺宮高校2名
- 久喜市環境課（1名）
- コンサルタント（1名）

（敬称略）

●自己紹介と気になる環境問題

- 駅から学校までを歩くときに以前より暑く感じる。地球温暖化の影響がでているのかと思う。
- 以前通学してた通りの公園が家になっていたことが気になっている。
- 通学途中に川があり、草が伸びてきて通りづらくなっている。誰が川の清掃をしているのか気になる。
- 地球温暖化の影響で気温上昇していて暑いと感じる。
- まちなかのポイ捨てなどが気になる。

【久喜市の環境の良いところ・悪いところ】

◆河川環境の維持について

- 自分1人で川の清掃をするのは難しい。近隣の方と市で日にちを決めてお掃除をすることが考えられる。
- ボランティアと地域の人と一緒にゴミを集める活動も考えられる。
- 体力のある若い人がいいのではないか。小学校のボランティアなど。保護者と一緒に活動も考えられる。
- 日にちを決めるのもいいが、仕事や部活など忙しく時間が無い人も多い。まずは、家の近くから掃除の習慣をつけ、時間があれば川にも行くことが考えられる。
- 家族ぐるみで参加の出来る日など。部活のみんなで参加するなど。
- 人数によって参加できるメニューがあるとよい。1人なら草むしり、2人以上なら川の清掃など。
- 小さい子どもがいる家庭向けに子どもをみているボランティアもいるとよい。（託児など）
- ゴミ拾いや掃除に参加した人へのポイント制度なども考えられる。

◆地球温暖化対策について

- 久喜駅から高校までの道。木があるが日陰ないので暑く感じる。久喜駅に上からミストがでていて、地面が涼しくなるようなスプリンクラーの設置や地域の人たちや中高生での水まき（打ち水）などで、地面の温度を下げることはできないか。
- 気温が高いとエアコンの使用が増える。ハンディファンなどと一緒に使うことで、エアコンの温度設定を下げられないか。
- 地域にある街灯の電球をLEDに変えることで、CO₂を減らせると思う。
- 久喜市はみどりが多。公園の草木を無くさないようにするとよい。みどりは空気をきれいにしたり、CO₂を吸収してくれる。公園やみどりを増やすといいと思う。

◆ポイ捨てについて

- 久喜駅の近くの川（青毛堀川）の土手に缶などが捨てられていて、ポイ捨てが目立つ。
- 久喜駅周辺にごみ箱が少ない。ごみ箱を増やすことも考えられるが、ごみ箱があることで安心してごみが増えてしまうことも考えられる。
- ごみ箱の周りをカラスがつついて道にごみが散乱している。
- ごみ箱はたいてい端にあり、探してるうちにポイ捨てしてしまうこともある。ごみ箱まで誘導してあげてはどうか。目立つところに『ごみ箱はあっちにあります』など矢印などで案内することも考えられる。
- 通学路にペットボトルなどが落ちており、自転車で通るときに危ないと感じている。
- ポイ捨てをしない人を増やすために、貼り紙などで啓発してはどうか。『ポイ捨て絶対ダメ！』など強めの広告がいいと思う。
- たくさんの方が目に入るように、でも道やまちなみに馴染むようなまちの景観を崩さない程度の広告をだしたらいいと思う。『本当に捨てていいんですか』など。小学生だけでなく、いろいろな世代に伝わるとよい。
- きれいな環境にごみを捨てる人はいないので、まちをきれいな環境にしておくのごみを捨てる人は減るのではないか。
- 啓発のポスターだけでなく、音声など声をつかってはどうか。

◆ごみの分別について

- ペットボトルのラベルをはがすのが大変である。ラベルをなくして商品のよさを直接ボトルに印刷したらいいのではないか。分別しやすいものだとよい。

◆久喜市の自然について

- 久喜市在住ではないが、学校近くにみんなが集まったり、ふれあえるような公園や広場が少ないと思う。
- 久喜市はみどりが少ない印象はないが、公園が少ないと思う。久喜市役所の前の御陣山公園は地面が砂利になっていて子供が遊ぶので危ないと思う。自然のみどりは多いけれど、集まれるところは少ないと思う。
- 通学するときに桜が見られたり、季節の花が感じられるのがよい。たまに木の根っこが飛び出ていることがあり、危ないと感じる。
- 通っていた小学校にビオトープ池があった。このようなものが学校に広がるといいと思う。
- （事務局）同じ久喜市内でも菖蒲庁舎の近辺など風景が変わる。市域をまわる機会を提供できたらと思う。

【情報発信のアイデア】

◆SNSでのPR

- 高校生はInstagramが情報を見る中心。SNSでアピールできるといいと思う。小学生は保護者に伝えるようにPRできるとよい。小学校にパンフレットを配布するなど。
- 久喜市のイベントの内容なども今日聞いて初めて知った。Twitter、HPなど自分では検索してみないので、Instagramなどでお薦めに流れてくるといいと思う。

- 動画にまとめて配信すると思う。文字だと読み飛ばしてしまうので、楽しそうな姿をみせたり、面白い要素があるとよい。
- 実際のイベントなどで楽しそうにしている動画をみせるといいのではないか。
- アニメや若い人に人気のイラストやキャラクターなどを活用してもいいと思う。
- インスタグラムの動画がでてきても長いと飛ばしてみってしまう。30秒位のコンパクトで印象に残るものがよい。

◆SNS以外でのPR

- イベントや交流会のはり紙などを駅や看板、掲示板など人がたくさん集まるところに掲示する
といいのでは。
- 回覧板もいいと思う。市の広報に具体的な内容を書くと、お年寄りの方もみれる。いろんな世
代に伝わると思う。
- ラジオで呼びかけるのもいいと思う。
- まちの放送（行政無線）で呼びかけたり、自動販売機などは色々なところにたくさん設置され
ているので、そこに掲示するのもいいと思う。
- チラシと一緒に配布する。スーパーやコンビニなどに貼りだしたら、ご自由にどうぞと持って
行ってもらおう。チラシだと大人も目にする機会が多い。

◆環境に興味を持っていない人にどのように伝えられるか

- 電気のつけっぱなし、水の出っぱなしをやめるだけでこれだけCO₂や料金が減るとい
うのをパンフレットやSNSで示せばいいと思う。
- 環境に興味がなくとも食べ物なら参加するのではないか。久喜市にもプレミアムクーポンがあ
ると思うが、クーポンなどがもらえるなら参加するなどもあると思う。
- 電気をつけっぱなしにすると、CO₂が増えて、地球はこうなるなど、危機感をあおるといい
と思う。自然への影響なども示せるといいと思う。

【イベントのアイデア】

◆久喜市ならではのイベント

- 久喜市は季節の花がみられるので、季節のお花の見学会などはどうか。年間通して開催して、
同じメンバーで年に何回か集まると楽しいと思う。
- 見るだけでなく、参加型体験型などがいいと思う。育てていけるイベントなど、継続できるも
のがいいと思う。
- ものをつくるWS的なものも入れてはどうか。お花をつかったバスボムなど、かわいいものだ
と参加したくなると思う。
- 小学生は虫の観察などのイベントも楽しいかと思う。高校生は時間がないので難しいかもしれ
ないが、女性をターゲットにするなら、久喜市のお花を使ったアロマやミスト、香水などを体
験したり、つくったりできるといいと思う。
- 久喜市の自然を活かしたものをつくるイベント。花を使ってアクセサリーをつくったりするこ
となども考えられる。

◆学校向けのイベント

- 季節のミニ風物めぐりや食べ物などが食べられるといいのでは。
- 高校生だと体力があるので年配の方ができないことをできると思う。清掃関係のイベントなど。最後にみんなでご飯を食べて交流会などがあると参加するのかなと思う。
- 中高生は体を動かして地域貢献できると思う。川の草むしりや、年配の方が掃除しづらいところなどを手伝い、お返しに手料理を頂くなど。一緒に活動できる機会があるとよい。
- 散歩しながら久喜の自然をみたり、その途中でゴミ拾いをしたり、特産の食べ物を食べたりできるとよい。
- やってみてよかったな、など達成感があるような社会貢献ができるものもよいと思う。

◆家族向けのイベント

- 家のインテリアなどに使える、置物をつくったり、家庭内で使えるものをつくったら家族で参加しやすいと思う。
- 体験型の身体を動かすイベント。スポーツイベントの最後にごみ拾いをするなど。
- 自然について問題をつくって家族で問題を解くイベント。なぞときクイズのような。クイズに答えられたら何かもらえるといいと思う。
- 久喜の歩ける範囲でスタンプラリーを行う。ミッションを置いておいて、10個くらい溜まるとポイントがもらえるなどもいいと思う。

以上

● C班

出席者：

- 高校生（7名）久喜北陽高校3名、鷲宮高校3名、栗橋北彩高校1名
- 久喜市環境課（1名）
- コンサルタント（1名）

（敬称略）

●自己紹介と気になる環境問題

- ごみの分別に興味がある。
- オーストラリアの森林火災等の事件もあり、どんどんCO₂が増加し、地球温暖化が進んでいることが気になっている。
- リサイクルについて興味がある。
- 久喜市にというまちが好きなので、今ある環境が今後消えてしまうのはいやだと思い参加した。
- 環境への負担の少ない持続可能な社会をつくれたらいいなと思い参加した。
- 外来生物について興味がある。

【久喜市の環境の良いところ・悪いところ】

- 久喜市は空気がおいしい。
- 道端とかにごみは少ないイメージはある。
- 青毛堀川が川の色が緑色でそこそこ汚い。

◆ポイ捨てについて

- 大きいゴミのポイ捨てはないが、タバコの吸い殻とかが落ちているイメージがある。
- 道沿いの田んぼに多くごみ（ペットボトル、缶、本等）が捨てられているという印象がある。
- 自動販売機の横に設置されているゴミ箱がいっぱいになっており、捨てたくても捨てられないためポイ捨てが発生している可能性がある。
- 駅利用者は多いので駅にごみ箱があると、ポイ捨ても少なくなると思われる。
- 駅にペットボトルのごみ箱はあるが、燃やせるごみの箱はない。
- ペットボトルのごみ箱の中に燃やせるごみを捨てている人がいる。学校から駅までの通学路の間に燃やせるごみのごみ箱を置いておけば、そこに捨てていく人は増えると思う。
- ごみを捨てられないほど道路をきれいにすると、捨てづらくなるのではないかな。
- 海外や東京の一部でやっている「ここに●●をしたら罰金」というような警告の掲示を出し、罰金の制度を取り入れるとポイ捨て防止に繋がるのではないかな。
- タバコのポイ捨ては歩きタバコが原因によるものが多いと思うため、歩きタバコに対する取り締まり（見回りの人をつける等）を設けたらよいと思う。
- ごみはポイ捨てせずに持ち帰っている。
- ごみが発生しても、コンビニのごみ箱とかに捨てている。ごみ箱がなければビニール袋に入れて家に持ち帰る。

- ごみ拾いの活動を頻繁に行うことで、その活動を見た周りの人がポイ捨てをしてはいけないという意識啓発にも繋がる。
- ごみを持ち帰るのはポイ捨てはいけないという思いが心に強くあるから。学校や身近な人からの教育もそうだが、小さいときから親にそう言われたのが強い。
- 自分の周りでごみを片付ける人の方がかっこいいという雰囲気もあり、それで持ち帰るようにしているというものもある。

◆地球温暖化対策について

- テレビでオーストラリアの森林火災のニュースで、森林の復活までにあと10年かかるという内容を見て、そんなにかかるのかと感じた。
- 森林はCO₂を吸収するため、温暖化対策も兼ねてまちにみどりをもっとあったほうがいい。
- 歩行者や運転者から見ても景色は良くなるので道路の両端に植物が増えるといい。
- 自動車メーカーが電気自動車や水素自動車を製造しているが、それを充電する場所が少ない。充電場所の整備をもっと進めることが温室効果ガス削減に効果的であると思う。日本は火力発電に現在依存しているところがあるため、そこから再生可能エネルギー由来の電力で充電できるといい。
- テレビで見た情報でごみの分別をしっかり行うことが、地球温暖化対策に繋がると聞いた。燃やせるごみの中にプラごみが入っていることで燃やす時間が変わってしまい、その分燃料がかかってしまう。そもそものごみの分別をしっかり行うことで少しでも温暖化防止に貢献できる。
- 自分たちが大人になったときに、今よりも暮らしが良くなるにつれ、地球温暖化が増えていくと思う。それを止めるためにはどうしたらいいかという思いがある。
- 久喜市が地元ですっと住んでいるが年々気温が高くなっている。このまま地元が住みづらくなってしまったら悲しい。何とかしたいという思いがある。

【情報発信のアイデア】

◆情報収集について

- 部活（理科部）でごみ、マイクロプラスチック等の研究をしており、それに伴い関係する情報を収集している。
- テレビで流れた情報を何となく見て、情報収集している。自分から積極的に情報収集はしない。
- 受験のときに身近な環境のことについて話そうと考え、情報収集のために市のHPを見た。
- SNSだと何となく見ることはあるが、HPを何となく見るということはない。

◆SNSでのPR

- ボランティア活動の参加募集情報を発信するスマートフォンアプリを開発し、そのアプリを通じてごみ拾いの活動等の参加者を募ってはどうか。また、そのアプリを色んな地域で活用してもらうことでそういった活動が世界中で行いやすくなるのではないか。アプリの周知は市のHP等を通じて普及を図る。アプリを通じてボランティア活動参加するによって、アプリ内でポイントが貯まるなどのゲーム要素も盛り込むことで、アプリ利用者も増えるのではないか。
- 「ピリカ」というごみ拾い&社会貢献アプリがあり、ごみを見つけた際にそれを撮影して拾い、情報共有を行うというものだが、そういったアプリも活用してもよいと思う。

◆SNS以外でのPR

- 市のHPを見る機会として、地域のお祭りが開催されているか確認するため見たことがある。
- 駅や公民館など普段利用する場所や人が集まりやすい場所でPRを行うことで、触れる機会が増えると思う。
- 自分たちの世代はスマートフォン等で情報を収集することができるが、高齢者の方の中にはあまりインターネットを使用しない人もいるのでポスター等による周知が有効。
- 地域のスーパー等の日常生活でよく行く施設にチラシやポスターを配架、掲示すると自然と見てもらえる機会が増える。
- 年代別に情報発信方法を変えることが大事。高齢者へは地域の施設に紙媒体を通じて情報発信したり、市のHPに情報を掲載する、若い世代はインフルエンサー等を通じた情報発信に興味があるためそういったものと絡めて情報を発信、子育て世代は保育園やスーパーなど日常よく行く場所へ情報を掲載するなど。

◆環境に興味を持っていない人が活動に参加してもらうにはどうすればよいか

- イベント等事業の参加の都度ポイントが付与され、貯まったポイントで日用品等がもらえたり、住民税が軽減されたりすると興味がない人でも参加してもらえるのではないかな。
- アンケートに参加するとポイントがもらえるなどの取組をやってみたら面白いと思う。
- PRの際は、参加したくなるようなインパクトのあるデザイン、ビジュアルが大事。文字だと読まないといけないが、絵やイラストだと一瞬で興味を引きつけることができる。
- 色が派手だったりすると目を引きつけやすい。
- 有名なアニメ等とコラボレーションをすることで興味を持っていない人でも知ってもらえる。
- 若い世代の人は地域のお祭りとかによく行くので、お祭りの開催と絡めて活動を行うことで自然と触れられる機会がでると思う。見て楽しめる活動があれば青春を感じられる。
- 火災予防のポスターの作成を地元の中学生に依頼している。学校に依頼して環境関連のポスターを作成してもらってはどうか。
- 高校や部活などで行う環境活動を例えば地元の幼稚園や保育園、小学校低学年の子どもたちにも参加してもらい、そこで幼少期から意識の醸成を図る。そうすることで自然と環境意識が高まり、ごみのポイ捨てなどが減っていくと思う。例えば部活で青毛堀川の水質や生態系の調査を行い、その際に市内の幼稚園に募集をかけて参加した子どもたちにも手伝ってもらうほか、調査に合わせてごみ拾いも実施するなど。

【WSに参加して思ったこと、感じたこと】

- あまり環境のことを考える機会がなかったが、これからは考えていったほうがいいのではないかなと思った。
- 自分が思っている考えのほかにも、自分が考えつかないようなアイデアがあって参加してよかった。
- 環境のことについて話していく中で、環境に対し興味・関心がわいた。
- 自分一人だとどうしたらいいんだろうかと悩むテーマもあったが、参加者の意見を聞いてすごいなと思うことがあった。久喜市の環境を自分たちで守っていかなければいけないと思った。

- こういった話し合いをする環境があまりなく、自分の意見や初めて会った人たちの意見が交換できる環境はいいなと思った。
- みんなでアイデアを出し合っただけで思ったことは、みんな環境のことに詳しいなと思った。色々なことを知れてよかった。学校でも色々な取組ができそうだなと思った。
- 自分の意見のほかにも色々な人の考え方や思っていることを聞いたので、そういう考えもあるのかと思い新しい発見にもなり、よかった。



今後に向けて

個別具体のアイデア・意見については、今後検討予定の環境施策の展開方針や内容に活用させて頂くとともに、下記情報発信及び事業実施の現場における工夫、改善点、イベント等の企画アイデアとして参考にさせていただきます。

●興味をひきつける情報発信の方法の検討

- ・久喜市の環境をPRする動画の募集、環境をテーマにした風景や写真の投稿募集
- ・キャラクターを活用した情報発信
- ・年齢層や職業で日常的に触れる機会が多い場所と連携した情報発信 など

●参加したくなる講座やイベントの企画、運営方法の検討

- ・環境をテーマにしたフォトコンテストや建築コンペ
- ・ごみや廃材を使った広告作品の募集
- ・年齢層やターゲット別のイベントの開催 など

以上